

通信小海

戦争の記憶

牧師 水草修治

小学一年生の頃、アブラゼミの鳴く日、近所で縁日があった。母が「わたあめを買つといで。」と言って、あの穴あきのずっしり重い五十円のニッケル硬貨を握らせてくれた。風になってわたあめ屋に走った。ところが、橋のもとに白木綿の軍服の兵隊さんの姿があった。一本足に義足だった。

「こはお国の何百里はなれて遠き満州の赤い夕日に照らされて友は野末の石の下」

「今月のみことば」
「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し・・・」

イザヤ二章四節

ハーモニカの奏でる曲は子どもの耳にもなじんだ「戦友」で、私はその歌詞を口ずさんでいた。じりじりと照りつける日差し。首筋に光る汗。兵隊さんの前に古い飯盒があつて、そこに三個か四個、五十円、十円玉や五円玉が入っていた。私は、つい菊の模様の五十円玉をそこに入れてしまった。と、兵隊さんは一年生の私に深々と頭を下げた。なんたか悪いことをしてしまったような気持ちしながら、手ぶらで帰宅した。母は「わたあめはどうしたん?」と聞かれて、「五十円、兵隊さんにかけてしまった。」と答えた。母は「そう。ふうん。」とだけ言つてなにか思い出しているふうだった。

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日 祈り会 午後一時半と午後七時半

*八千穂・海尻・川上でも家庭集会あり。

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

と聞いたものだ。おっちゃんは話好きで、ある日、話題が戦争の話におよんだ。おっちゃんは戦時中、朝鮮半島で陸軍伍長として収容所のような所で現地人を管理していたという。反抗的な囚人たちに対する差別的ことは、虐待、殺害のようすなどを自慢げに聞かされて、胸が悪くなってしまう。子ども心に『普通のおっちゃんでも、戦争になったら何するかわからへんのかなあ。』と黙って恐くなった。

この二つの記憶は、戦争の悲惨と日本の罪とを子ども心に印象付けた。九・一一事件、北朝鮮のミサイルや核開発の動向、そしてイラク戦争と関係して、政治家の勇ましいげな発言が相次ぎ、日本を「ふつうの」戦争ができる国にするために法整備がなされようとしている。罪ある人間が嘗む国家群からなる世界の現実である。正当な自衛権までは否定できまい。しかし、民族意識をあおった戦争がいかに罪深い欲望を爆発させ、内外に残した悲惨がいかにかりだったのかという現実を忘れず、頭を冷やして厳しく自己チェックするための機能をも整備することが肝心である。

福音指圧教室

日時八月二四日(日)午後二時

場所教会堂 電話九二・四七七六

よつやく梅雨が明けたよつです。お元気で
すか。農家のみなさんは最盛期で猫の手も
借りたくないさでしょうが、健康にはくれぐ
れも気をつけられますよつに。さもなくばど
んなに稼いでも、みな医療費に消えてしま
います。

その日の疲れや痛みをその日で取るため
に、家族で指圧をおほえるといいますよ。

持ち物バスタオル、タオル、くつした

無料

山谷に米支援を

長引く梅雨で稲の成長、コメの収量がどうなるかが危ぶまれるところです。職と食に飢えている人々に、ご支援をよろしく願います。

連絡先

お米と調味料(しょうゆ・塩・だしのもと)、
毛布を必要としています。大根・ニンジンな
ども助かります。

山谷農場事務局(藤田 寛)

電話090・1436・0334

ファクス042・766・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパ 千振替 二四 四五三七九六

山谷農場

泉は湧き出づる かぎり泉である

「牧師さんの少年時代のはげの苦労話はわかったけれど、泉の話とどう関係があるのか、わからなかった」と前号の読者の感想をいただいた。小学校時代の思い出にふけりすぎた。はげと泉は関係ない。

聖書の舞台イスラエルの国に二つの湖がある。北にガリラヤ湖、南に死海。ガリラヤ湖は北方ヨルダンにそびえるヘルモン山の雪解け水が地下にもぐって数十年かかって湧き出した泉である。ガリラヤ湖は東西十二キロ、南北二十キロの小さながら多くの魚を産出し、イエス様の時代から漁業はガリラヤの基幹産業の一つであり、弟子ペテロはガリラヤ湖の漁師だった。このガリラヤ湖からあふれた水は南へ南へとヨルダン渓谷をくだって行き、死海

にたどりつく。

死海は、湖面が海拔マイナス三九六メートルと、世界一低いところにある湖である。当然、死海から注ぎ出す川は一本もない。ヨルダン渓谷には岩塩があるので川の水にわずかに塩分が含まれ、その結果、死海は世界一塩分濃度が高い湖となつてしまい、一匹の魚も虫も住むことができない。「死海」という名のゆえんである。

こんこんとあふれて注ぎ出すガリラヤ湖は小さいながらも藻類や魚類など生命に満ちた豊かな湖である。他方、四千年にわたつて、ひたすらに他から水を受け入れてきた死海は今一つの生命の息も許さない、文字通り死の海となりはてしてしまった。

与えることなく受けることのみ求め、ただひたすら自分のふところに蓄える人は、生きながらに死んだ人生をたどるのであろう。しかし、受けるよりもむしろ与えることを、慰められるよりもむしろ慰めることを、愛されるよりもむしろ愛することを望む人生は、失っているように実はいのち豊かにあふれる人生なのである。

しかし、有限な私たちが慰められること

なしにどうして慰めることができようか、ゆるされることなしにどうして赦すことができようか。愛されることなしにどうして愛することができようか。無限の泉である主イエスからのちの水を受けてこそ、私たちの人生もあふれる泉となる。

「ばらまいても、なお富む人があり、
正当な支払いを惜しんでも、
かえって乏しくなる者がある。」

おらかな人は肥え、
人を潤す者は自分も潤される。」

箴言十一・二十四 二十五

「受けるより与えるほうが幸いである。」

使徒二十・三十五

「この水を飲む者はだれでも、また渴きま
す。しかし、わたしが与える水を飲む者はだ
れでも、決して渴くことがありません。わた
しが与える水は、その人のうちで泉となり、
永遠のいのちの水が湧き出ます。」

ヨハネ福音書四・十三 十四

男らしさとは

前回は、人を男と女に造られた神の意志にそつて、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだと書き、当今の男女ごちやませ教育を批判した。では、「男らしい」とはどういうことなのか？聖書はなんと言っているか。

「男らしく強くありなさい。いっさいのことを愛をもって行ないなさい。」(ヨハネ十六・十三・十四)とあるように、「男らしい」とは、まず「強い」ということである。どの時代も強さは男の子のあこがれである。小さいときには仮面ライダーにあこがれ、大人になつてもボブ・サップに熱狂したりする。(残念、サップはもう弱くなつたらしいが。)(「男らしく育てよ」とは、まず「強く育てよ」ということである。

強いということとは、一つには肉体的な

強さということであろう。運動をさせるもよし、畑を手伝わせるもよし。少々危ないことも、挑戦させることである。先日、高校一年の息子が騎馬戦で落ちて右腕を脱臼骨折したが、わずか二週間でギプスは取れてリハビリ開始。若いとはすごいことだ。運動方面に神の賜物があるとするなら、鍛えるならば若いうちだろう。

また、運動は苦手でも神から知能に賜物をいただいている男の子もいるだろう。知力を鍛えることも必要である。知育偏重教育に対する反動で、昨今なるべく勉強させまい、知るべきことも最小限に抑えようという風潮がある。しかし、知的好奇心が旺盛で、頭の柔らかいときに十分に勉強させることである。格別、読書。まず幼い日の読み聞かせである。そしてテレビを廃棄して、本を置いておけば子どもは読むようになる。読書の習慣を子どもに身に着けられたら、彼は生涯役に立つスコップを手に入れたのである。そのスコップで彼は人生に必要なさまざまな宝を掘り出すことができる。

しかし、肉体が強く知力が強いだけでは、ほんとうの男らしさには足りない。腕力を弱い者いじめに用い、知力をたくみな犯罪のために用いたのではなんになるう。「男らしく強くありなさい。いっさいのことを愛をもって行ないなさい。「公正を愛し、卑怯さを憎み、怒りを制御し、自己中心の欲求を適正にコントロールして、むしろ愛をもつていっさいを行なうための強靱な道徳的意志と謙虚さをもつて」そ、真の男らしさと言えるだろう。

一つは大腦の道徳的意志をつかさどる部分の発達を阻害するテレビゲームを捨てることだ(通信一 六号「ゲームの恐怖」参照)。また、小さいころから、男として弱者を守る責任があることを自覚させる。たとえば父親が出張するときには、「おまえが母さんや妹たちを守るんだぞ。戸締りはおまえの責任だ。」といつづつに。

そして、なにより男の子を男らしく育てるのに必要なのは、力強く、かつ愛に満ちたまことの神を知らせることである。

「男は怒つたり言い争つたりすることなく、どこでもきよい手を挙げて祈るようになさい。」(テモテ二・八)